

純木造で都市をつくる

(仮称)OYプロジェクト計画 (横浜市)

高層木ビル (仙台市)

もり 森林を活かす まち 都市の木造化推進 オンラインセミナー

9.2 (水) 13:15 ~ 16:15

参加費 無料 / 定員 500名 / CPD 3単位

国内における豊富な森林資源が本格的な活用期を迎え、新たな木材需要の創出・拡大を図るために森林環境税・森林環境譲与税が創設されるなど、人と環境に優しい「木造都市づくり」がいよいよ実現しようとしています。

建築基準法の改正により、都市における中高層建築の木造化を促進する動きが加速化していることに伴い、耐火技術・構造技術も急ピッチで開発され、木造でも3時間耐火建築物(15階建以上)が建設可能となりました。

既存の概念を変える純木造高層ビルプロジェクトのご紹介を通じ、木造建築の可能性を実感頂きたくご案内申し上げます。

主催 一般社団法人日本木造耐火建築協会

後援 国土交通省、林野庁、一般社団法人全国木材組合連合会、森林を活かす都市の木造化推進協議会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

(一社)日本木造耐火建築協会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



もり 森林を活かす ま 都市の木造化推進 ち オンラインセミナー

9.2(水) 13:15～16:15

参加費 無料／定員 500名／CPD 3単位

[事前申込制] お申し込みはHPよりお願い致します。
※定員を超えた場合は抽選となりますのでご了承ください。

申込締切 8.26(水)



(一社)日本木造耐火建築協会 公式HP
www.mokutaiken.or.jp

プログラム

- 12:45 ● 開場・待機
- 13:15 ● 主催者挨拶
- 13:30 ● 来賓挨拶
衆議院議員 吉野 正芳 様、林野庁長官 本郷 浩二 様、国土交通省
- 14:00 ● 基調講演「これからの森林・林業・木材産業」
林野庁長官 本郷 浩二 様
- 14:30 ● 休憩
- 14:45 ● 基調報告「日本初の高層耐火純木造 11 階建てビル」
(株)大林組 設計本部 プロジェクト設計部 副部長 堀池 隆弥 様
- 15:30 ● 基調報告「仙台駅東口 製材による純木造 7 階建てビル」
(株)シェルター 常務取締役 安達 広幸 様
- 16:15 ● 終了

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。

最新木造高層ビルプロジェクト



(仮称)0Yプロジェクト計画



高惣木エビル

建設地：神奈川県横浜市
階数：純木造 地上11階、地下1階
規模：延べ面積 3,488㎡
最高高さ：44.1m
用途：自社研修・宿泊施設
設計・施工：株式会社大林組

◆ポイント

- ・基礎免震構造
- ・支圧接合とGIR工法を組み合わせた「十字型剛接合プレファブユニット」を開発
- ・一方向ラーメン中間梁構造の採用
- ・超厚物木造合板(200mm)の開発
- ・BIM活用による木造施工の合理化
- ・「オメガウッド(耐火)」採用
- ・1階柱に日本初となる3時間耐火部材を採用
- ・国交省 2019年度「サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」採択

建設地：宮城県仙台市(仙台駅東口前)
階数：純木造 地上7階
規模：延べ面積 1,131.25㎡
最高高さ：27.38m
用途：テナント、オフィス、専用住宅
設計・施工：株式会社シェルター

◆ポイント

- ・大断面の柱が必要となる規模で、150角の一般流通材で建築される純木造ビル
- ・スプリットリングによる「束ね・合わせ材(柱)」の技術を開発
- ・構造実験で束ねによる軸剛性の増大効果を確認
- ・接着剤を使わないため、一般的なインフラで部材の製造が可能となり林業活性化や雇用の創出に繋がる
- ・木質耐火技術「クールウッド」採用
- ・国産のスギ、ヒノキ製材を活用
- ・適切に管理、伐採された森林認証材「SGEC認証材」を使用

主催 一般社団法人日本木造耐火建築協会

後援 国土交通省、林野庁、一般社団法人全国木材組合連合会、森林を活かす都市の木造化推進協議会